

日本大学工学部校友会
会 員 各 位

日本大学工学部校友会
会 長 手 塚 公 敏

「日本大学校友会(本部校友会)正会員」登録のお願い

陽春の候 会員各位にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、ここに「日本大学校友会正会員」についてご案内申し上げます。会員各位におかれましては、ご一読の上、何卒、標記・正会員へのご加入・ご登録にご高配を賜りますようお願い申し上げます。

「工学部校友会」(以下略称、本会)は、昭和 31 年 3 月に結成された「土木工学科校友会」を前身とし、現在に至っております。東北の郡山に立地したせいか「独立・独歩」の気風が強く、先輩達が繰り広げた活動は比類なき充実したものでありました。また、活動資金も、先輩達が納入された入学時の入会金・卒業時の終身会費がその原資(運営費)となっております。

一方、「日本大学校友会」は、昭和 24 年の学制改革の折りにその組織の整備がなされており、事務局は日本大学本部内にあって各部会を統括するものであります。そして、その運営費は、日本大学からの拠出金と、各部会からの分担金が充当されてきました。さらに、変革の激しい最近の社会情勢から、「日本大学校友会」は、平成 12 年に諸々のサービス事業(学生会員への診療費の助成、奨学金、日大スポーツの振興、校友子女入学支援、校友会館の建設運営等々)を掲げ、準会員(学生会員)並びに校友へのサービスを充実させる目的から新しい校友会へと組織が再編され、その再編によって会費の納入方法および運営費の出処が大きく変わったのであります。

従来、本会は、準会員から上述の方法で校友会費を独自に徴収しており、その徴収金を会の運営費と「日本大学校友会」への分担金に充当しておりました。しかし、再編されてからは、本会が校友会費を直接徴収することはなくなり、準会員の学費納入時に校友会費(年会費 1 万円)を同時に納めてもらい、学部を經由して「日本大学校友会」へ納入されるようになりました。この納入金の内、本会へ 70% が運営費として還付、残りの 30% については、それぞれ 15% が「日本大学校友会」の運営費および工学部への寄付金として充てられます。

また、卒業された校友にあっては、正会員費 1 万円(登録は 1 年毎)を「日本大学校友会」へ直接納入することで「正会員」の資格が得られ、所属する学部校友会並びに本部校友会のサービス事業(上記・参照)を受けることができます。尚、ここにおいても「日本大学校友会」に納入される正会員費は、その 30% が納入者の所属する部会の運営費として還付されます(図 1 参照)。

この様に、会員に対するサービス事業の内容は、「日本大学校友会」からの還付金に負うところが多く、事業の展開を更に活性化させる上からも、会員各位の「日本大学校友会正会員」へのご加入・ご登録が切に望まれる所であります。

本会は、これからも他に比して劣ることのない校友会活動を展開して参るべく鋭意努力する所存であります。会員各位には、校友の立場として母校および校友会をご支援下さるには、「日本大学校友会正会員」にご加入・ご登録いただくことが最も望ましい方法であることを、ここに、申し添える次第であります。

僭越とは存じますが、振込用紙を同封いたしましたのでご利用ください。

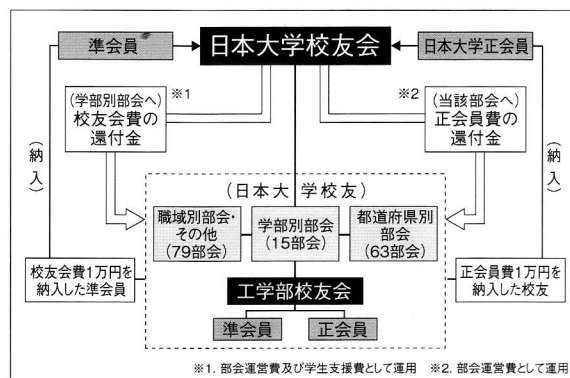


図1. 日本大学校友会組織

※振り込み用紙が必要な方は「工学部校友会事務局」までご連絡下さい。
振り込み用紙をお送りいたします。

以 上